

スポーツ かわさき

No. 44

10

= 目 次 =

- 平成8年度第2回理事会・評議員会 ②
- 平成8年度スポーツ指導者講習会 ③
- ひるしま国体から学んだこと ④
- 「ゆめ国体」川崎市開催種目の紹介 ⑥
- いま、総合科学高校の運動部は ⑦
- 体育の日 記念イベント ⑧
- 国体実行委員会だより ⑨
- 県総合体育大会総合第2位 ⑩
- 秋季市民大会行われる ⑪
- 第11回市民マラソン大会スタート ⑫

財団法人 川崎市体育協会

平成
8年度

第2回理事会・評議員会

川崎市体育協会50周年に向けて 高雲会長「活力ある体育協会づくり」方向づけを強調

大相撲収益金の一部、スポーツ振興基金として特別預金

川崎市アマチュアダンス協会の加盟を承認。市体協32団体に。

(財)川崎市体育協会の平成8年度第2回評議員会が、去る8年11月26日(火)午後2時30分から川崎市教育文化会館会議室で開かれ、平成8年度収支補正予算その他について審議されました。

開会の冒頭、高雲体協会長は挨拶の中で、平成8年の第51回国民体育大会関東ブロック大会での、川崎市実施種目、ボウリング・野球・ハンドボール競技の運営にあたっての当該種目団体の努力に対し謝辞を述べると共に、来るべき「神奈川・ゆめ国体」の成功と、市民体育の益々の振興をめざして「活力ある体育協会づくり」の方向づけを一層明確にして行きたい、との抱負を述べ、その実行に向けて各種の審議に入りました。

第1号議案 大相撲春巡業川崎場所について

事業報告書と収支計算書案について諮ったが、異議なく全員一致で可決。

第2号議案 平成8年度収支予算の補正案

第1号議案で承認された大相撲特別会計の中から一部を一般会計に繰入れ、また300万円を将来に向けての「スポーツ振興基金」として特別預金することについて、全会一致で可決承認しました。

第3号議案 川崎市アマチュアダンス協会の加盟申請について(別項)

第4号議案 川崎市体育協会50周年記念事業について(別項)

体協50周年記念事業準備委員会を設置して準備に入ることを決定。

次に各種報告事項が諮られましたがいずれも異議なく承認されました。報告事項は次の通り。

- ①平成8年度神奈川県総合体育大会について
- ②賛助会費納入状況について
- ③平成8年度生涯スポーツ指導者講習会
- ④県教育庁会計監査結果について
- ⑤指導者海外派遣研修について
- ⑥第11回市民マラソン大会日程の変更について

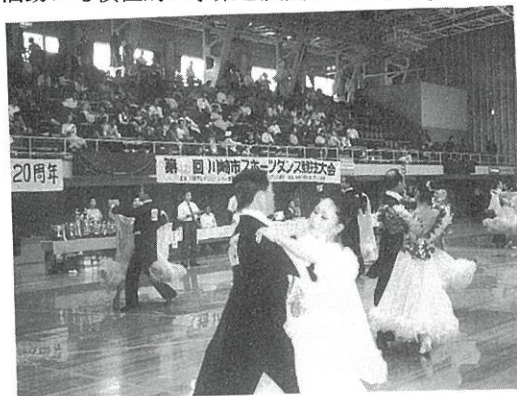
第2回理事会はこの評議員会のあと、引続き同会場で16時30分、開催されましたが、同議題・同報告ともに全会一致で可決承認されました。



＝川崎市アマチュアダンス協会加盟＝

かねてから加盟申請が出されていた川崎市アマチュアダンス協会は、市体協理事会で加盟承認され、来たる4月1日より正式に市体協の一員として活動を開始されることとなりました。

同協会は、川崎市内にある競技ダンス団体25登録会員数640名を、5つの支部(川崎ブロック・幸ブロック・中原ブロック・高津・宮前ブロック・連合ブロック)に別け活動をしております。公認ランキング競技をはじめとして、4月・9月の2回、市民スポーツダンス競技会を開催するなど、普及活動にも積極的に事業を展開しています。



(財)川崎市体育協会 創立50周年記念事業について

昭和23年に産声を上げた川崎市体育協会は、平成10年に50周年の節目を迎えることとなりました。半世紀を振り返り、そして新たに飛躍する為の体協の在り方を確認するよい機会として、万全の準備を整え、体協の総力を挙げて50周年記念事業を実施することを決定しました。新年度に入り準備委員会を設け、具体的に動き出します。

〈基本事項〉

1. 体協表彰規定により「体育功労者表彰」
2. 記念事業実施

〈事業アイテム〉

1. 体協創立50周年記念誌の発行
2. 各種イベントを企画
 - (1) 表彰式典 (2) 祝賀会 (3) 講演会
 - (4) シンポジウム (5) スポーツイベント
 - (6) 「体協50周年記念」の冠を各大会につける
 - (7) 区単位で行うイベント
3. 体協シンボルマーク・体協旗等の策定
4. 記念品の製作（賛助会員を視野に、バッジ等）
5. 体育指導員との連携 6. 区民大会等。

〈外部指導者のベンチ入りOK〉

県体協は特別委員会で平成8年度県総体から「外部指導者のベンチ入り」を導入しました。

外部指導者の資格は次の通りです。

外部指導者とは校長が人格・指導面において認めた成人または県、市町村派遣事業で認められた者であり、学校の教育方針に基づき、顧問教員の指導計画に従い、顧問教員と協力し、日頃から指導にあたることができる方。

- (1) 成人……18才以上の社会人、大学生（短大、専門学校生含む）
- (2) 他校の（小中高）校長、教員、職員はコーチとしての資格はない。
研究推進校（神奈川県）
 - ◎ 文部省指定武道指導推進校
学校名 平塚市立 浜岳中学校
 - ◎ 文部省指定運動部活動研究推進校
学校名 横須賀市立 久里浜中学校
 - ◎ 神奈川県学校体育研究推進校
学校名 厚木市立 陸合東中学校

平成8年度「スポーツ指導者講習会」 盛況裡に終わる！

去る平成9年2月1日（土）、川崎市体育協会主催、川崎市教育委員会ならびに大塚製薬（株）後援による生涯スポーツの講習会が、中原区宮内の「会館とどろき」で開かれました。

会場には各種競技団体、地域スポーツ団体の指導者ら95名が聴講に訪れ、熱心に聴き入っていました。

講習は2部に構成され、第1部は

筑波大学体育科学系 鈴木正成教授の講演。題して「スポーツと栄養」

競技力向上の観点からではなく、生涯を健康で過ごしていくうえで大切なことは、筋肉の基礎代謝を高めること。そのために教授が提唱している「ダンベル体操」の持つ健康作用のメカニズムをスライドを通して語られました。



第2部の講演は、1988年ソウルオリンピック体操競技日本代表の真田マキ子氏

「体操を通じて学んだこと」と題して、氏が体操を始めるに至った動機から、順調に進んだ競技生活、クラブを移籍して環境を変えたこと。目標に向かって真剣に取り組み、プラス指向で前向きな姿勢で競技生活を送ったことなど、競技者の立場から語られ、聴衆に感銘を与えられました。

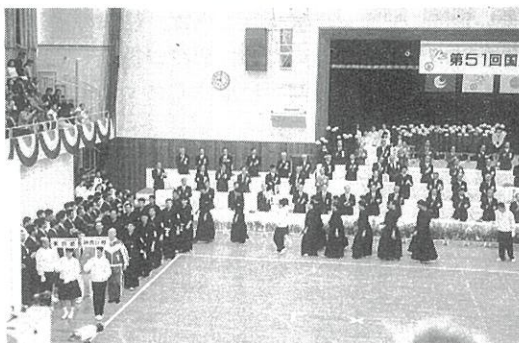


この体験を神奈川・ゆめ国体に活かしましょう

ひろしま国体から学んだこと（国体視察記）

（財）川崎市体育協会が行っている「国民体育大会視察派遣事業」は、各団体の競技種目を視察し、今後の当該種目の選手力強化の参考となるよう、見聞を広めるということを目的として実施されているものです。

平成8年度は、上野富夫さん（剣道連盟）、岡崎彦雄さん（バスケットボール協会）、前田亨介さん（バレーボール協会）、皆川英治さん（少林寺拳法協会）の4名が第51回ひろしま国体を視察されました。4名の視察談を列記します。



剣道連盟の上野富夫さんは、平成8年10月14日～16日の3日間、宮島町で行われた剣道競技を視察されました。

『3日間とも好天に恵まれ、また剣道会場の前が一面の海ということもあって、大変素晴らしい環境で最高の視察をすることができました。しかしながら、会場は中学校体育館ということもあり、大変狭いように感じられました。また、観覧席も少なく、立ち見の人が多かったのが少し残念でした。

競技の方では、神奈川県チームは佐賀県と対戦しましたが、1勝1分3敗という結果に終わり、少しがっかりしました。

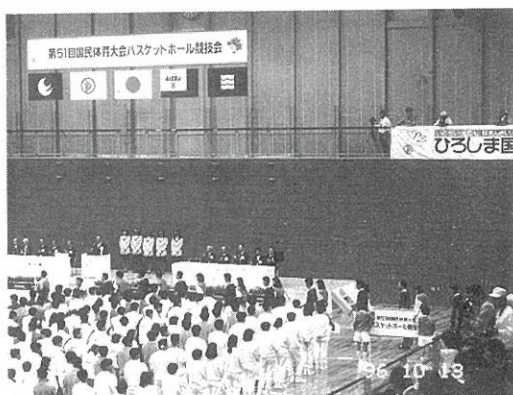
視察をしていて感じたことは、我々のような視察員は、「川崎市体育協会視察員」というネームプレートを着用した方がよいのではないか、ということです。今後ご一考をお願いしたいと思います。

また、視察の報告事項についても様式化するなどして、報告しやすい形式にした方がよいのではないかと感じました。

バスケットボール協会の岡崎彦雄さんは、10月12日～14日の3日間、広島市安佐北区スポーツセンターと日新製鋼呉製鉄所体育館で行われたバスケットボール競技を視察されました。

『競技会場は、アジア大会の開催を踏まえてのひろしま国体という関係上、立派な施設・設備であったことが第一印象でした。

特に会場周辺には幟や花が数多く見られ、大会を盛り上げるのに一役買っていたと思いました。PR活動の大切さを感じました。



交通体系については、会場が分散されているためもあり、シャトルバスの案内が不徹底であり、結局タクシーを利用しなければならなくなってしまったのが残念でしたが、交通案内の役員の方は非常に親切に対応してくれたのが心に残っています。

開始式では、この会場で行われるのが成年の部ということもあってか、観客席に空席が目立っていました。川崎市の会場はとても広いところなので、ガラガラになってしまうのではないかと一寸心配しております。少年少女の吹奏楽や地元のコーラスグループが開始式を盛り上げていました。

競技については、成年の場合、ベテランと若手が非常にうまくかみ合って、素晴らしい成果を挙げてくれましたので、これをかながわ・ゆめ国体まで持続させていかなければならないと思います。

少年の場合、男女とも今一つの努力が必要ではないかと感じています。特に男子の場合には、ひろしま国体には出場できなかったわけでもあり、

かながわ国体を目指して是非頑張りたいと思います。』

次はバレーボール協会の前田亨介さんです。前田さんは10月13日～15日の3日間、県立総合体育館で行われたバレーボール競技を視察されました。



『広島県は、アジア大会という大きなイベントを成功させており、その自信からか国体開催においても気張るところもなく、淡々と仕事をこなしているとの感想を持ちました。

施設も大会当時のものがそのまま使用されていて、国体のために資金を注ぎ込んだという感じはなく、落ち着いた雰囲気に包まれていました。その分、県民の盛り上がりが少々欠けていたようにも思え、噛み合わせの難しさも感じました。

施設は申し分なく、役員も、運営に手慣れている様子で仕事をしていますが、競技会場へのアクセスが予想以上に悪く、最寄り駅からも遠く、しかも案内が立看板1枚だけというのは、少々不親切であったかと思いました。

バスケットとバレーの少年及び一般男子6人制の3会場を視察しましたが、地元出場の時は大変盛り上がるのですが、それ以外の時は義理の応援の域を出なかったように感じましたが、やむを得ないことなのでしょう。

かながわ国体の時は、本県は全国各地の出身者も多いので、出身県別応援団のような組織を作ってみるのも郷土愛に訴えて真剣な応援ができるのではないかと考えてもみました。

最後になりましたが、本県チーム（富士フィルム）が、なみいる強豪を退け、地元広島を破って優勝したことは組み合わせからしても胸のすく思いがいたしました。』

最後に、少林寺拳法協会の皆川英治さんは10月13日～15日の3日間、大野町体育館の剣道競技と廿日市スポーツセンターの柔道競技を視察されました。

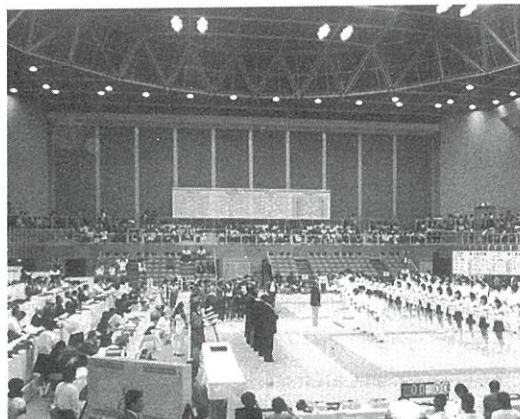
『今回のひろしま国体には、私の所属する少林寺拳法の競技種目がないため、同じ武道種目である剣道及び柔道を視察しました。

大野町にある宮島口駅前には、剣道会場案内のテントがあり、無料のシャトルバスや会場までの沿線の国体開催旗など、町全体での運営体制を見ることができました。また、体育館前では観光案内や剣道グッズ店などとともに、地元の接待所や抹茶の茶席もあり、町民一丸となった大会という雰囲気がありました。

会場内でも、地元の高校生がコート係や警備面の手伝いをするなど、大会全体を陰で支えているのが印象に残り、県民全員参加のひろしま国体という感じを持ちました。

柔道競技会場では、少年女子の部が行われていましたが、ここでも幼稚園児のマスゲームやリズム体操など、地元の皆で国体を成功させようと一生懸命の様子がわかりました。また、この会場には地元の小学生等の専用席も数多く用意されていて、国体参加の方法にもこのようなやり方もあったのかと感心しました。

最後になりましたが、国体開催地の選手強化はどこでも計画的に行っていますが、今回もその成果は十分に発揮されていて、広島県選手が好成績を挙げているのが印象に残っています。平成10年のかながわ・ゆめ国体に向けて、このように地元が一丸となった全員参加の運営と選手強化を目指して、私たちもより一層頑張っていかなければならないと、今回の視察を通じて改めて感じました。』



シリーズ①

53国体「神奈川・ゆめ国体」川崎開催種目の紹介②

平成10年の神奈川国民大会に於て、川崎市で開催する予定の5つの競技種目のうち、本号では改装中の「川崎市体育館」で開催される、バスケットボール成年男子の状況と、同協会の活動状況について紹介します。

バスケットボール協会は、川崎市体育協会設立時から加盟している市内で最も歴史のある競技団体の一つです。また、現会長の中川啓氏、理事長の禰覇朝明氏体制の中、小学生から一般までの約350近いチーム（1万2千余名）が毎年登録している大規模な協会でもあります。

登録チームの中には、日本リーグで活躍中の東芝男女、富士通女子があります。またNKK男子、いすゞ男子も練習会場の本拠地を川崎市に置いています。このように日本リーグのチームを5つも抱えている協会は、全国を見渡しても川崎以外には見当たりません。このため毎年3回ほど日本リーグを「とどろきアリーナ」で開催しており、一回の入場者は毎年2,500名を越える盛況です。

協会が開催する大会のうち最も規模が大きいものは「川崎市民バスケットボールフェスティバル」で、毎年12月の第3日曜日に開催され、ミニ・中学・高校の選抜選手による南北対抗戦と、大学や実業団の招待試合を組んでいます。試合の間にはフリースロー及び3ポイント大会が1800名ほどの参加者により行われています。

昨年まで川崎市体育館で行われたこのフェスティバルも、参観者の増加から、11回目にあたる今年度は「とどろきアリーナ」に会場を移しました。また今年度の招待試合は平成10年度の身障者大会をにらんで、車椅子バスケットボール「パラ神奈川」対「埼玉ライオンズ」の試合を公開しました。

現在、協会役員は104名。渉外、総務、財務、競技、審判、強化技術、の6つの委員会に別れて活躍を行っています。

審判委員会は、全日本A A級の県審判委員長清水氏、A級の市審判委員長山田氏を中心に全日本公認審判16名、県公認審判7名を有しており、ミニから一般までを対象に年、13回の審判講習会と各種大会の運営を行っています。

強化技術委員会は、国体成年男子の部の県の監

督を努める安部氏を中心に、ミニから高校まで年27回の強化技術講習会を開催しています。講師として、東芝男子監督の真下氏、同女子監督の荒氏、NKK男子監督の北原氏ら、市協会とつながりの深い日本のトップレベルの現役指導者が協力体制にあることを心強く思っています。このこともあって、ここ数年県における川崎市のチームの活躍にはめざましいものがあります。今年1年をみても南菅中男子（県新人戦3位）平中男子（県中学総体3位）生田高男子（県新人戦4位、関東大会県予選優勝）生田高女子（県新人戦4位）法政二高男子（県新人戦2位、関東大会県予選5位）川崎南高男子（県高校総体4位）となっています。

当協会は、来年度創立50周年記念式典を開催する予定になっています。今後もママさんバスケット連盟の組織化を図るなど、強化普及に力を注いでいきたいと思っています。



平成10年の神奈川国体では、成年男子の部が開催される予定になっています。本年度の広島国体成年男子の部で優勝したメンバーには、前述の安部氏の他、選手として中村（富士見クラブ）落（柿生西高教員）鈴木（法政二高OB）が参加しており、神奈川国体でも市民の期待に応えられる結果を必ず出すことができるものと信じています。

シリーズ②

(第2回) いま、総合科学高校の運動部は

川崎総合科学高校の運動部は、男子13団体、女子は8団体あります。専門高校のハンディ（放課後のレポート整理や課題研究など）を負う中、毎日遅くまで練習に励んでいます。

4年前に学科新設と改編があり、川崎工業高校から川崎総合科学高校に校名変更されました。その際にデザイン科、情報工学科などが新設された影響で、60数名の女子生徒が毎年入学するようになり、バドミントンや空手道・柔道では、男子生徒に続いて県内で名をあげるようになってきました。

4年前に完成した15階建校舎と併設して、広い体育館、柔・剣道場、卓球場、トレーニング室などが完備され、またグラウンドも人口芝になるなど、スポーツ環境に恵まれた学校になりました。各運動部はこれらの施設を活用して成果をあげつつあります。

学校のプロフィール

所在地 幸区小向仲野町5-1

学校長 花形元文

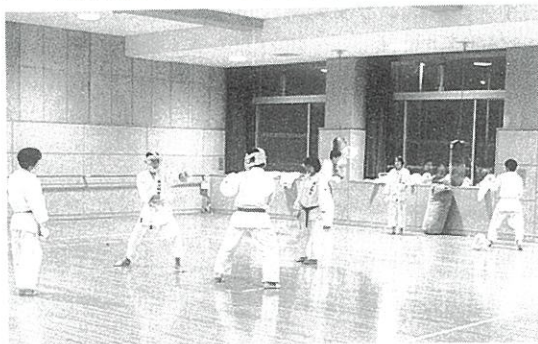
生徒数 全日制806名 定時制170名（1月現在）

活躍する運動部

活躍する運動部の中で特筆すべきはバドミントンの成績です。前顧問の国吉卓先生（現市立川崎高校校長）の熱心な指導で作上げた伝統を、現顧問の五十嵐功先生が引継ぎ、関東大会に13回、全国インターハイに8回、全国選抜に5回出場するなどの輝かしい成績を誇っております。現在は平成10年の神奈川県体での全国制覇を目指し、さらなる練習に励んでいます。尚、4年前に創部した女子部は県インターハイで学校対抗2位、個人戦で関東大会に出場するなどの成績を残しました。



空手道部は女子部が創部4年目にして県大会団体戦組手の部で準優勝し、関東選抜大会、関東大会に出場しました。男子部も団体戦組手の部でベスト8になるなど、数年前に全国大会に連続出場を果たした成績に近づきつつあります。



柔道部は女子部が創部3年目にして県大会でベスト8になり、男子部も上位校と対戦しても引けを取らない戦いを見せるようになりました。

球技では男子ハンドボールは県ベスト4、男子バスケットボールは県でベスト16に入るなどの活躍をしています。



各運動部の顧問は体育科を中心に構成されています。体育科以外の人材も豊富で各部2～4名の顧問が熱心な指導に携わっています。また、高体連などの役員にも数多くの職員が携わっています。

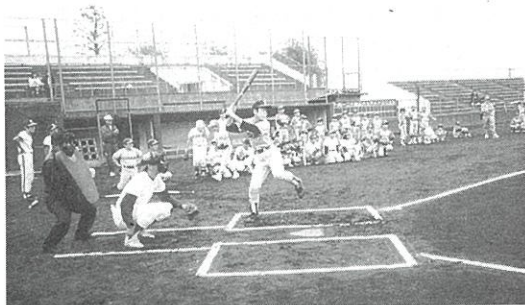
定時制では野球、バレーボール、サッカー、バドミントン、バスケットボール、卓球の各運動部が定通大会での優勝を目指して頑張っております。

「体育の日」記念

体育協会加盟団体8種目でイベントを開催

平成8年10月10日『体育の日』を記念して、川崎市体育協会に加盟する8種目団体が、競技・技術講習会や模範演技など、等々力や富士見の市営の施設等を使って行いました。市民の皆さん方にスポーツへの関心を高めて頂き、その普及を目的として行われたものです。小学生から高齢者まで、秋晴れの日をそれぞれのスポーツで楽しみました。参加した市民は、各種目を合わせて2000名近くに及びました。

野球は、市営等々力球場と市営大師球場を会場として、社会人野球選手の指導による小・中学生対象の「野球教室」を、午後からはA級チームや壮年チームによる模範試合が行われました。参加者は600名でした。



テニスは、市営等々力コートで、150名を越える市民が参加し、県公認のコーチによるジュニア・初心者から中級者までの基礎技術の講習を行いました。

ソフトテニスは、市営等々力コートで小学生から一般・家庭婦人・高齢者を対象として、基本動作やルール解説そして個別指導・試合などを行いました。参加者は、約100名でした。

弓道は、市営富士見弓道場で、市民への普及をかねて弓具の展示・各級ごとの試射等の演技および講習を行いました。



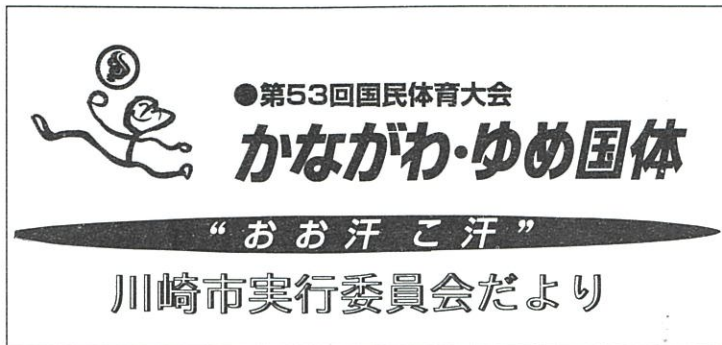
剣道も川崎市石川武道館で、剣道の歴史・模範演武・練習方法・簡易試合などの講習を行いました。相撲は、市営富士見相撲場で、市内中学生・高校生約100名を集めて、少年相撲教室を開催しました。

ラグビーフットボールは、市営等々力中央グラウンドで小学生から一般愛好者450名余りを集めて、技術講習やタッチフットゲーム・ミニラグビー・そして各級ゲーム等を行いました。



サッカーは、市営等々力競技場に小学生とその親および少年選抜チームのメンバー250名が集まって、基礎技術の講習、また、川崎・鎌倉・大和・多摩市の各少年選抜チームの交流試合を行いました。





平成9年度には市開催5競技のリハーサル大会 が開催されます

5月23日から軟式野球競技開催

いよいよ、第53回国民体育大会「かながわ・ゆめ国体」が来年（平成10年）に近づいてまいりました。平成9年度には、川崎市開催5競技について、本大会へむけてのリハーサルということで、別表のように、それぞれの競技について全国級の大会を「リハーサル大会」として、本大会並みに開催いたします。

とりわけ、5月23日から開催される軟式野球は、県下のトップを切って開催される大会であるため、大変注目を集めております。

かながわ・ゆめ国体は、より多くの皆様の参加のもとに、見て楽しむ・参加して楽しむ・体験して楽しむ国体を目指しております。それ故、競技会場周辺の運営については、多くの市民がボランティアとして携わっておりますので、試合の観戦も含め是非応援してください。

国体啓発用広告塔が設置される

かながわ・ゆめ国体の開催を多くの市民に知っていただくため、ポスター、リーフレット、グッズ等を通して広報してまいりましたが、この度、市役所前とJR武蔵小杉駅前に広告塔が設置されました。

今後も、各区役所、スポーツセンター、市内の主要な交差点等に看板類を設置する予定です。



第53回国民体育大会 川崎市開催競技リハーサル大会 日程

競技名	期 日	大 会 名	会場(●開会式会場)	開 会 式	共催市町村
軟 式 野 球	5月23日(金) ～27日(火)	第19回東日本軟式野球大会	●川崎球場 等々力野球場	5月23日 16:00～	横須賀・藤沢 茅ヶ崎市
テ ニ ス	7月25日(金) ～27日(日)	第21回 全日本都市対抗テニス大会	●等々力庭球場 富士見庭球場	7月25日 8:30～	平塚市
ハンドボール	8月7日(木) ～9日(土)	第2回ジャパンオープン ハンドボールトーナメント	●とどろき アリーナ	8月7日 12:00～	横浜市
バスケット ボール	8月9日(土) ～12日(火)	第36回男子・第27回女子 全日本教員バスケット ボール選手権大会	●市体育館 東芝小向体育館 市川崎高体育館	8月9日 9:00～	小田原 横須賀市 大井町
ボウリング	11月6日(木) ～9日(日)	内閣総理大臣杯争奪大会	●川崎グランド ボウル	11月6日 17:30～	本市単独開催

第47回

神奈川県総合体育大会 川崎市が総合第2位獲得

神奈川県内37市町村対抗の県総合体育大会が平成8年2月のスキー競技に始まり16競技が行われました。

川崎市は15競技に参加し、横浜市に次ぐ総合第2位の成績を収めました。

平成7年度は台風の接近により数種目が中止となりましたが、本大会もまた9月22日に台風が接近したために数種目が影響を受けました。

選手、役員、競技に携わった方々はいろいろご苦労様でしたが、特に台風の日に、風雨の中を会場へ出向いた方々は、中止の連絡等大変だったことでしょう。平成9年度の大会は良い天候に恵まれて欲しいものです。そしてその第48回大会では各競技種目とも、良い成績をおさめて欲しいもの。もうひと頑張りすれば総合優勝も期待できることでしょう。

以下は種目別成績です。

種目名	期日	会場	成績
スキー競技	2/23・24・25	野辺山ハイランド	第6位
ソフトボール競技	8/11・18	綾瀬市本蓼川野球場ほか	3回戦
ソフトテニス競技	8/11	平塚市田村庭球場	準優勝
水泳競技	8/11	県立体育センター	第4位
陸上競技	9/29	大和スポーツセンター	第1位
バレーボール競技男子	9/15・22	座間市市民体育館ほか	第3位
バレーボール競技女子	9/15・22	藤沢市秋葉台体育館ほか	第1位
軟式野球競技	9/22・29	厚木市玉川球場ほか	最高位
サッカー競技	9/29	平塚市市民スポーツ広場	最高位
卓球競技	9/29	茅ヶ崎市総合体育館	第1位
バスケットボール競技	9/16・22	横須賀市西部体育館ほか	2回戦
柔道競技	9/29	県立武道館	第3位
弓道競技	9/29	厚木市東町弓道場	第1位
バドミントン競技	9/22	大和スポーツセンター	3回戦
クレール射撃競技	9/15	大井射撃場	第6位

各競技 ＝秋季市民大会＝ 行われる

昨年のスポーツの秋、体育協会傘下の加盟団体が主催する秋季市民大会が各種目で行われました。主な記録をお知らせいたします。

陸上競技（大会新記録者）

一般男子	100m	10秒71	大槻 康勝（法政大）
	400m	47秒24	熊谷 直人（富士通）
	100mH	14秒72	勸行 智信（法政大）
	砲丸投	13m75	柳沢 宏（法政大）
	円盤投	44m12	原 信一（アンビバレンス）
中学男子	110mH	15秒23	黒木 寛司（西高津中）

バレーボール（6人制優勝者）

一般男子一部	川崎ベアーズ
一般男子二部	RED SANDS B
一般女子	神奈川翔友会
高校男子（二会場）	橘A・法政二
高校女子（二会場）	橘A・百合丘

バレーボール（9人制優勝者）

一般男子一部	東芝多摩川
一般男子二部	東芝小向
一般女子	TOP'S

バスケットボール

一般男子	優勝 富士見BULLS	2位 カダフィーズ
一般女子	優勝 東芝柳町	2位 NEC玉川

ハンドボール

一般男子	優勝 I・Hクラブ	2位 荏原会
一般女子	優勝 新城クラブ	2位 住吉クラブ
高校男子	優勝 県川崎	2位 生田
高校女子	優勝 川崎北	2位 新城
中学男子	優勝 野川	2位 西中原
中学女子	優勝 西中原	2位 宮内

軟式野球

優勝 川崎市水道局 2位 川崎市役所

ソフトボール

20才以上

優勝 下野毛キングス 2位 神地SC

40才以上

優勝 いずみクラブ 2位 高石団地

バドミントン (優勝者)

男子A級 松井 (RITS)

男子B級 久徳 (ユリガオカ)

女子 上倉 (BADWORKERS)

家庭婦人テニス (優勝者)

A組 木下 孝子・高木 直子 組

B組 南 竹子・柴原 洋子 組

C組 田中 憲子・嶋田 和子 組

D組 榎田美代子・荒川 光江 組



柔道

有段団体の部

優勝 幸柔道クラブ 2位 中原柔道館A

無段団体の部

優勝 明大生田柔道部 2位 桐光学園

中学生団体の部

優勝 南加瀬中B 2位 南加瀬中A

小学生団体の部

優勝 車道場 2位 幸柔道クラブ

弓道

団体の部

優勝 川崎弓道会C 2位 NEC

個人の部

優勝 建石喜久雄 (川崎弓道会)

剣道 (優勝者)

七区団体対抗

麻生区剣連

四区団体対抗

川崎市役所

女子三級の部

吉成 梢 (浅田剣)

女子二級の部

稲葉 美穂 (養心館)

女子一級の部

會田 幸子 (稲田中)

女子初段の部

鈴木 智美 (宮崎)

女子二段の部

石倉美和子 (橘)

女子三・四段の部

熊谷 茂美 (川崎市役所)

男子三級の部

飯塚 圭介 (稲田中)

男子二級の部

原 大輔 (玉川中)

男子一級の部

岩谷 英樹 (浅田)

男子初段の部

高平 怜 (御幸)

男子二段の部

高平 学 (御幸)

男子三段の部

清水 裕貴 (御幸)

男子四・五段の部

福田 有 (養心館)

空手道 (優勝者)

シニア形

小林 光男 (泉武館)

一般男子無段形

岸井 秀史 (正道会)

一般女子形

井上裕美子 (川崎商高)

一般男子有段形

船橋 智義 (川崎商高)

少年少女団体形

野口会 C

シニア組手

久徳 孝 (東芝小向)

一般男子無段組手

野口 直哉 (総合科学)

一般女子組手

井上裕美子 (川崎商高)

一般男子有段組手

船橋 智義 (川崎商高)

一般団体組手

総合科学 B

相撲 (優勝者)

高校生の部個人

松尾 実 (向の岡工業)

中学生の部団体

桜本中 A

中学一年の部個人

小関 貫彦 (御幸)

中学二年の部個人

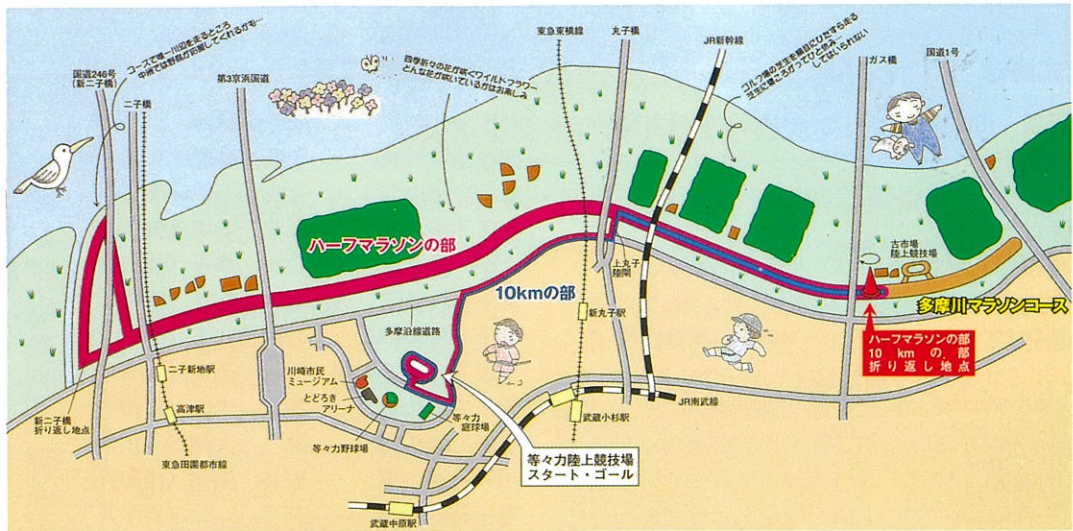
藤城 亮人 (京町)

中学三年の部個人

田村 健一 (御幸)

スポーツ教室も 順調に進む

体育協会主催の各種スポーツ教室も順調に進行しています。水泳教室、スケート教室、ボウリング教室は2回目を終了。なぎなた教室は毎週金曜日に開催され、8回目を終了しました。



第11回市民マラソン大会

新設のリバーサイドコースでいよいよスタート！

第43号でご紹介した第11回川崎市民マラソン大会が、新設された多摩川マラソンコースで3月9日(日)に開催されます。

今回から、20キロの部がハーフマラソンの部に変更され、10キロの部が午前9時40分、ハーフが9時55分にスタートします。

今回はじめて使用される多摩川マラソンコースは、全国でも初めてという河川敷を利用したマラソンコースです。10キロの部では、ランナーは、等々力陸上競技場～小杉陣屋町交差点～丸子橋付近～ガス橋折り返し～丸子橋付近～小杉陣屋町交差点～等々力陸上競技場と走ります。ハーフマラソンの部では、等々力陸上競技場～小杉陣屋町交差点～丸子橋付近～二子橋折り返し～ガス橋折り返し～丸子橋付近～小杉陣屋町交差点～等々力陸上競技場と走ります。お近くにお住まいの市民の方々は、是非大きな声援をランナーに送っていただきたいと思います。

さて、このコースは、市民の方々が気軽に散策やランニングが楽しめるようにと、新たに整備されたものです。路面は7メートルにわたって真砂土や山砂などのソイルとセメント系土質改良剤を混ぜ合わせた舗装剤が使用されていて、ランニング時の膝への負担を軽減する構造となっています。もう既にこのコースで散策やランニング、ジョギングを体験された方は実感されていると思います。

このように、このコースは市民の皆さんの大切な財産ですから、二輪車や四輪車での乗り入れは禁止されています。また、野球のスパイクなどで走ることも絶対にしないで下さい。皆さんで正しく愛用していただきたいと思います。

編集後記 新しいコースでの市民マラソン大会。コースチェックにも立ち会いました。とても走りやすいコースです。好記録の続出を期待します。(皆川) 新しく仲間入りするアマチュアダンス協会の写真で44号はちょっと華やかに…。(小嶋) インフルエンザ大流行。広報委員会のメンバーは寒さにも感冒にもめげず、ひたすら原稿に取り組む。さすがはスポーツで鍛えた身体。(左澤) 記事を書くために講習会を受講し、真剣に開いて勉強になりました。(中山)

スポーツかわさき 第44号

平成9年2月28日

発行 (財)川崎市体育協会

〒210 川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市幸スポーツセンター内

電話 044-556-5511 FAX 556-5559

編集 (財)川崎市体育協会 広報委員会

印刷 (株)第一サンエー(電話222-2356)

〒210 川崎市川崎区榎町3-9